

## 世界が生き残るために必要な水の問題



広報委員 石川 清和

水の未来 世界の川が干上がるとき

フレッドピアス 日経BP社

昔子供の頃に海水浴の後、水浴びをした海岸のコンコンと湧き出していた泉の流れが勢いを失ったのはいつからだろう？農業が主産業の今帰仁では森林や防風林として木は大切にされている。多くの緑が残されているこの土地で地下水に何が起きているのか？その答えをこの本が教えてくれた。

世界の人口はもうすぐ70億に達する、食料や衣服を生産するためには膨大な量の水が必要である。1970年代の緑の革命により、農作物の品種改良を行い、荒地・砂漠に灌漑用水路を開き、河川の水を上流で取水し、農業生産は飛躍的に増加した。しかし灌漑用水路やダムを作り、地下水を利用することがさまざまな問題を引き起こし、水をめぐる問題は地域間だけでなく国家間の問題となりつつある。

上流と下流の国家間で水の利権をめぐり争いが起こり、下流では豊かな自然の恵みが失われ多くの難民が生じている。インドがインダス川の上流でダムを作ろうとしパキスタンと深刻な争いに発展し、核戦争を危惧する声もある。また、インダス川上流でインドが乾燥地帯の農業のため灌漑用に多くの取水を行い、その結果21世紀初頭にインダス川が河口で干上がってしまい、河口の豊かなマングローブが失われ、漁業が壊滅的な打撃を受けた。その結果多くの職を失った人々が都市部に流入しスラム街を作り、一部はアルカイダの供給源になっているという。中国では、黄河上流で砂漠に灌漑水路を作り、農業が繁栄する一方で、黄河が海に到達する前に先細り砂の中に消え去るようになった。

砂漠地域では国境付近の二国間にまたがって存在する地下帯水を一方的にくみ上げて使用するため、深刻な紛争がおきつつある。地下水(数千年かけて形成された地下帯水も含め)をくみ上げ乾燥地帯や砂漠で農業を行うことが、貴重な水資源を枯渇させようとしている。水力発電を行うためにできるだけ満水にしようとしている多くのダムは、突然の大雨に対応できず逆に洪水を引き起こしている。

これらのことは遠い他国のだけの問題ではない。水の浪費による農業に頼り60%以上の食料を輸入に依存し、11兆円の食料をゴミ箱に捨てている日本のわれわれにとっても重大な影響を受ける深刻な問題である。

仮想水を考えると、米1kg=2,000l、小麦1kg=1,000l、ジャガイモ1kg=500l、ハンバーグ114g=11,000l、牛乳1kg=2,000~4,000l、砂糖1kg=3,000l、コーヒー1kg=20,000l、1杯のブレンダー=2,000l、Tシャツ1枚の綿花=8,000lの水を必要とする。私たちは膨大な水を浪費する生活をしており、水の有難さと、人類と水の未来を考えさせてくれる1冊である。

